

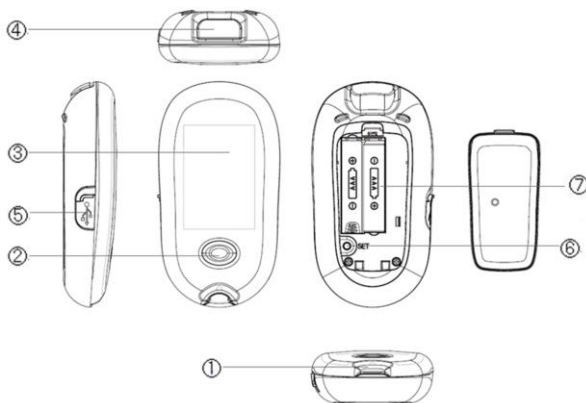
フォラケア・GD40

【警告】

1. 本製品は臨床検査の専門家等が使用すること。
2. 以下の患者には使用しないこと。
 - ・キシロース吸収試験を実施中の患者
 - ・プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者
 （実際の血糖値より高値を示すことがあるのでインスリン等の血糖降下剤を大量に投与することにより、重篤な低血糖症状があらわれるおそれがある。）
3. センサーは再使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 構造及び名称



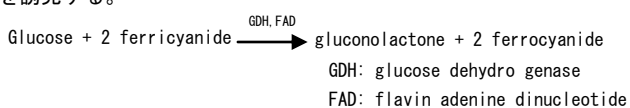
No	名称	機能及び動作
①	センサー挿入口	センサーを挿入する
②	主ボタン	電源の「入」、「切」、メモリーの呼び出しを行う
③	表示画面	測定結果や情報を表示する
④	イジェクター	押し込むとセンサーが排出される
⑤	データポート	製造及び修理時に外部端子を接続する
⑥	設定ボタン	本体の設定を行う
⑦	電池収納部	電池を入れる

センサーはフォラケア GD40センサー（届出番号13A2X10052000011）又はフォラケア GD40センサーEDTA用（届出番号13A2X10052000012）を使用すること。

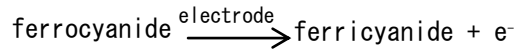
寸法：110（縦）×57（横）×25（厚さ）mm
 重さ：71g（電池を含まない）
 電源：単4アルカリ乾電池×2本
 記憶容量：1000回分

2. 原理

血液が血液吸引口に接触すると、毛細管現象によって吸引され充滿する。血液中のグルコースに対して、FAD依存グルコースデヒドロゲナーゼ（以下 FAD-GDH と称する）が触媒となり以下の反応を誘発する。



上の反応によりヘキサシアノ鉄(II)酸(ferrocyanide)を生成し、これが電極が近くにあると電子供与体となり、以下の電気反応により再びヘキサシアノ鉄(III)酸(ferricyanide)に戻り、電極に電子を放出する。



この電気化学反応は反応部のグルコースの量に正比例してセンサーに流れる電流が変化するため、この電流値の変化を監視することで、グルコースの濃度を測定することができる。

【使用目的又は効果】

血液中のグルコース濃度を測定する。

【品目仕様等】

1. 性能
 - 測定範囲：10～600mg/dL
 - 検体量：1.1μL
2. 安全性

本品は、IEC 61326-1の要求事項に適合する。さらに ISO15197 付属書 A に明示の追加要求事項（IEC 61000-4-2、IEC 61000-4-3）に適合する。

【使用方法等】

ロット補正

新しいバイアルを開けたときは、本製品に補正情報を読みこませる必要がある。バイアルに表記されているコード番号と測定器に表示されるコード番号が異なる場合、正しい結果がでない可能性がある。

1. 本体の電源が入っていない状態で、センサー付属のコードキーを挿入する。
2. 画面にコード番号が表示される。センサーの入っているバイアルに表記されているコード番号と同じであることを確認する。
3. コードキーを取り外し、画面に“OK”と表示されたことを確認する。

コード番号の確認

測定を始める前に、画面に表示されたコード番号と使用するセンサーが入っているバイアルに表示されているコード番号が同じであることを確認する。異なる場合は測定を中止し、ロット補正を行うこと。

QCモード

測定器とセンサーが適切に動作していることを確認する。

1. センサーを挿入して本体の測定器の電源を入れる。
2. 主ボタンを押してQCモードにする。
3. コントロール液の点着

使用前に十分に混和する。最初の一滴は捨て、二滴目をコントロール液のキャップ頂部の窪みに出す。測定器を手で持ってセンサーをコントロール液に近づけて点着する。十分量がセンサーに吸引されると、測定のカウントダウンが始まる。コントロール液の汚染防止のため、センサーに直接コントロール液を点着しないこと。
4. 結果の確認

測定結果がバイアルに記載されているコントロール液許容範囲に入っていることを確認する。

血糖値測定

1. センサー挿入口にセンサーを挿入して電源を入れる。
2. センサーの血液吸引口から血液を吸引させる。
3. 測定が開始され、カウントダウンが表示される。
4. 測定終了後、結果を確認する。
5. 使用済みのセンサーはイジェクターを押して廃棄する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
 - *1) ヨウ素を含む外用薬を使用した部位からの採血は避けること。[偽高値となるおそれがある]
 - 2 指先から採血する場合、穿刺前に必ず流水でよく手を洗うこと。

- 3) 果物等の糖分を含む食品などに触れた後、そのまま指先から採血すると指先に付着した糖分が血液と混じり、血糖値が偽高値となるおそれがある。[アルコール綿による消毒のみでは糖分の除去が不十分との報告がある。]
- 4) 以下のような末梢血流が減少した患者の指先から採血した場合は、血糖値が偽低値を示すことがあるため、静脈血等他の部位から採血した血液を用いて測定すること。
 - ・脱水状態
 - ・ショック状態
 - ・末梢循環障害
- 5) 血糖値の測定結果はmg/dLを単位として表示される。測定結果が測定可能範囲(10~600mg/dL)を超えた場合、測定器は以下の情報を表示する。
 - ・“Lo”表示：測定結果が測定可能範囲より低いことを示す。血糖値が非常に低い(低血糖)か、操作に誤りがある。
 - ・“Hi”表示：測定結果が測定可能範囲より高いことを示す。血糖値が非常に高い(高血糖)か、操作に誤りがある。
 なお、血糖値が極端に低い又は高い場合、上記以外のエラーを表示する場合があります。

- ・本品又はセンサーが正常に機能していないと感じる場合
- ・本品を落とした場合(強い衝撃を与えた場合)
- ・測定結果が自覚症状と異なる場合
- ・しばらく測定器を使用しなかった場合

【包装】

1台/箱

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者

株式会社フォラケア・ジャパン
東京都港区新橋5-10-8 FORAビル
(TEL) 03-6452-8642

外国製造業者(国名)

Taidoc technology corporation(台湾)

2. 相互作用

1) 干渉薬剤

なし

2) 測定値に影響を及ぼす因子

- ・ヘマトクリット値が低い場合は測定値が高めに、ヘマトクリット値が高い場合は測定値が低めになるおそれがある。
- ・妨害物質・妨害薬剤については「フォラケア GD40センサー」(届出番号 13A2X10052000011)又は「フォラケア GD40センサーEDT用」(届出番号 13A2X10052000012)の添付文書を参照すること。

3. その他の注意

- 1) 血液由来の感染に注意し、本品が汚れたら必ずクリーニングを行うこと。
- 2) 血液がついた器具は他の人が触れないようにすること。
- 3) 本品に破損などの異常が認められる場合には使用しないこと
- 4) 本品は分解、修理、改造をしないこと。
- 5) 電磁波を発生する恐れのある器具の近くで使用しないこと。
- 6) 本品にほこりや水が入らないようにすること。
- 7) 高いところから落とすなど、強い衝撃を与えないこと。
- 8) センサー挿入口にセンサー以外のものを挿入しないこと。
- 9) 本品やセンサーを保管していた場所と使用する場所の温度が大きく違う場合は、使用する場所にしばらく置いて温度の差をなくしてから使用すること。
- 10) 使用環境条件下(10~40℃、85%RH以下)で使用すること。
- 11) 使用期限の過ぎたセンサーは使用しないこと。
- 12) 血液量が不足したときや血液の吸引が不完全なときは、センサーを再使用せずに廃棄し、新しいセンサーで再度測定すること。
- 13) センサーをセンサー挿入口の奥までしっかりと差し込むこと。挿し込みが不完全な場合、正確に測定されない可能性がある
- 14) 使用済みのセンサーは適切に廃棄すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 直射日光及び高温多湿を避け、40℃以下で保管すること。
冷蔵庫・冷凍庫では保管しないこと。
2. 耐用年数は記載された使用環境条件、保管環境条件及び使用方法に従い適切に使用された場合、5年である。[自己認証による]

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

1) クリーニング

本品が血液などで汚れた場合は、水または70%アルコール(エタノール、イソプロピルアルコール)で湿らせた綿棒か布で軽く拭くこと。

2) 点検

以下の場合には、本品が正常かつ安全に動作することを専用のコントロール液を使用して確認すること。詳細な使用方法は取扱説明書を参照すること。